



平成31年4月26日発行

薬局通信

第94号



大阪母子医療センター

掲載薬品一覧

新規試用品目	患者限定医薬品	院外専用医薬品
チザニジン顆粒0.2%「日医工」	インチュニブ錠1mg	サトウザルベ軟膏10%、20%
ロラピタ静注2mg	ヤーボイ点滴静注液50mg	乳石錠500mg「ファイザー」
ビムパットドライシロップ10%	ロンゲス錠5mg	シムジア皮下注200mg シリンジ
ビムパット点滴静注200mg	リズミック錠10mg	マックメット懸濁用配合DS
メプチン顆粒0.01%	ケンブラン吸入粉末溶解用100mg	ミケルナ配合点眼液
ピコプレップ配合内用剤		リスパダールOD錠1mg
シベクトロ錠200mg		リスパダール内用液1mg/ml
シベクトロ点滴静注用200mg		マルツエキス分包(9g/包)
ラクテックD輸液		ケンエーG浣腸液50%40ml
新規採用医薬品	採用中止薬	ワーファリン錠0.5mg
ガドピスト静注1.0mol/L 2ml	ラクテックG輸液	
ロクロニウム臭化物静注液25mg/2.5ml		
オクトレオチド酢酸塩皮下注 100μg「サンド」		

採用薬品の処方開始は、原則として平成31年5月8日からとなります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

薬事委員会からのお知らせ

販売中止医薬品

- ・ウロキナーゼ注「フジ」60,000 が販売中止（2019.3 経過措置）、ウロナーゼ静注用 6 万単位に切替え
- ・レギチーン注射液 10mg が販売中止、レギチーン注射液 5mg（2018.6 薬価収載）に切替え

新規試用医薬品

チザニジン顆粒 0.2% 処方箋医薬品

（日医工）筋緊張緩和剤

一般名：チザニジン塩酸塩錠

効能効果/用法用量：

1. 下記疾患による筋緊張状態の改善

頸肩腕症候群，腰痛症

通常成人には，チザニジンとして 3mg を 1 日 3 回に分けて食後に経口投与する。なお，年齢，症状により適宜増減する。

2. 下記疾患による痙性麻痺

脳血管障害，痙性脊髄麻痺，頸部脊椎症，脳性（小児）麻痺，外傷後遺症（脊髄損傷，頭部外傷），脊髄小脳変性症，多発性硬化症，筋萎縮性側索硬化症

通常成人にはチザニジンとして 1 日 3mg より投与を始め，効果をみながら 1 日 6～9mg まで漸増し，1 日 3 回に分けて食後に経口投与する。なお，年齢，症状により適宜増減する。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：11.⁶⁰ 円/g

ロラピタ静注 2mg 処方箋医薬品

（ファイザー）抗けいれん剤

一般名：ロラゼパム注射液

効能効果：てんかん重積状態

用法用量：通常、成人にはロラゼパムとして 4mg を静脈内投与する。投与速度は 2mg/分を目安として緩徐に投与すること。なお、必要に応じて 4mg を追加投与するが、初回投与と追加投与の総量として 8mg を超えないこと。

通常、生後 3 ヶ月以上の小児にはロラゼパムとして 0.05mg/kg（最大 4mg）を静脈内投与する。投与速度は 2mg/分を目安として緩徐に投与すること。なお、必要に応じて 0.05mg/kg を追加投与するが、初回投与と追加投与の総量として 0.1mg/kg を超えないこと。

処方区分：院内処方可

薬価：2,225.⁰⁰円/瓶

ビムパットドライシロップ 10% 処方箋医薬品

(第一三共) 抗てんかん剤

一般名：ラコサミドドライシロップ

効能効果：てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）

用法用量：

成人：通常、成人にはラコサミドとして1日100mg（ドライシロップとして1g）より投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて増量し、維持用量を1日200mg（ドライシロップとして2g）とするが、いずれも1日2回に分けて用時懸濁して経口投与する。なお、症状により1日400mg（ドライシロップとして4g）を超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として100mg（ドライシロップとして1g）以下ずつ行うこと。

小児：通常、4歳以上の小児にはラコサミドとして1日2mg/kg（ドライシロップとして20mg/kg）より投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kg（ドライシロップとして20mg/kg）ずつ増量し、維持用量を体重30kg未満の小児には1日6mg/kg（ドライシロップとして60mg/kg）、体重30kg以上50kg未満の小児には1日4mg/kg（ドライシロップとして40mg/kg）とする。いずれも1日2回に分けて用時懸濁して経口投与する。なお、症状により体重30kg未満の小児には1日12mg/kg（ドライシロップとして120mg/kg）、体重30kg以上50kg未満の小児には1日8mg/kg（ドライシロップとして80mg/kg）を超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kg（ドライシロップとして20mg/kg）以下ずつ行うこと。ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：不可

薬価：386.²⁰円/g

ビムパット点滴静注 200mg 処方箋医薬品

(第一三共) 抗てんかん剤

一般名：ラコサミド注射液

効能効果：一時的に経口投与ができない患者における、下記の治療に対するラコサミド経口製剤の代替療法
てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）

用法用量：ラコサミドの経口投与から本剤に切り替える場合：

通常、ラコサミド経口投与と同じ1日用量及び投与回数にて、1回量を30分から60分かけて点滴静脈内投与する。

ラコサミドの経口投与に先立ち本剤を投与する場合：

成人：通常、成人にはラコサミドとして1日100mgより投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて増量し、維持用量を1日200mgとするが、いずれも1日2回に分け、1回量を30分から60分かけて点滴静脈内投

与する。1日最高投与量は400mgを超えないこととし、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として100mg以下ずつ行う。

小児：通常、4歳以上の小児にはラコサミドとして1日2mg/kgより投与を開始し、その後1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kgずつ増量し、維持用量を体重30kg未満の小児には1日6mg/kg、体重30kg以上50kg未満の小児には1日4mg/kgとする。いずれも1日2回に分け、1回量を30分から60分かけて点滴静脈内投与する。ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。

4歳以上の小児のうち体重30kg未満の小児では1日12mg/kg、体重30kg以上50kg未満の小児では1日8mg/kgを超えないこととし、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kg以下ずつ行う。ただし、体重50kg以上の小児では、成人と同じ1日最高投与量及び増量方法とすること。

処方区分：院内処方可

薬価：4,252円/瓶

メブチン顆粒 0.01% 処方せん医薬品以外の医薬品

(大塚製薬) 気管支拡張剤

一般名：プロカテロール塩酸塩水和物

効能効果：下記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解

気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫、急性気管支炎、喘息様気管支炎

用法用量：通常、成人にはプロカテロール塩酸塩水和物として1回50 μ g(顆粒として0.5g)を1日1回就寝前ないしは1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。

6歳以上の小児にはプロカテロール塩酸塩水和物として1回25 μ g(顆粒として0.25g)を1日1回就寝前ないしは1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。

6歳未満の乳幼児にはプロカテロール塩酸塩水和物として1回1.25 μ g/kg(顆粒として0.0125g/kg)を1日2回、朝及び就寝前ないしは1日3回、朝、昼及び就寝前に経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：46.²円/g

ピコプレップ配合内用剤 処方箋医薬品

(日本ケミファ) 経口腸管洗浄剤

一般名：有効成分(1包16.1g中)

(日局) ピコスルファートナトリウム水和物 10mg

(日局) 酸化マグネシウム 3.5g

(日局) 無水クエン酸 12g

効能効果：大腸内視鏡検査及び大腸手術時の前処置における腸管内容物の排除

用法用量：通常、成人には、1回1包を約150mLの水に溶解し、検査又は手術前に2回経口投与する。1回目の服用後は、1回250mLの透明な飲料を数時間かけて最低5回、2回目の服用後は1回250mLの透明な飲料を検査又は手術の2時間前までに最低3回飲用する。

検査又は手術の前日と当日に分けて2回投与する場合

検査又は手術の前日は低残渣食、当日は透明な飲料のみとし、検査又は手術前日の夜及び検査又は手術当日の朝（検査又は手術の4～9時間前）の2回経口投与する。

検査又は手術の前日に2回投与する場合

検査又は手術の前日は低残渣食、当日は透明な飲料のみとし、検査又は手術前日の夕及び1回目の服用から約6時間後の夜の2回経口投与する。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：1,010円/包

シベクトロ錠 200mg / シベクトロ点滴静注用 200mg 処方箋医薬品

(MSD) オキサゾリジノン系合成抗菌剤

一般名：テジゾリドリン酸エステル錠/注射用テジゾリドリン酸エステル

効能効果：＜適応菌種＞ テジゾリドに感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）

＜適応症＞ 深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

用法用量：通常、成人にはテジゾリドリン酸エステルとして200mgを1日1回経口投与する/1時間かけて点滴静注する。

処方区分：院内・院外処方可（錠剤）

長期投与の可否：不可（錠剤）2019年6月解除

薬価：20,801.4円/錠、28,084円/瓶

ラクテックD輸液 処方箋医薬品

（大塚製薬工場）糖質・電解質輸液（5%ブドウ糖加乳酸リンゲル液）

一般名：本剤は1容器（500mL）中に次の成分を含有する注射液である。

塩化カルシウム水和物0.1g 塩化カリウム0.15g 塩化ナトリウム3.0g L-乳酸ナトリウム1.55g ブドウ糖25g

電解質濃度 Na⁺ 130mEq/L K⁺ 4mEq/L Ca²⁺ 3mEq/L Cl⁻ 109mEq/L L-Lactate⁻ 28mEq/L

効能効果：循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正、代謝性アシドーシスの補正、エネルギーの補給

用法用量：通常成人、1回500～1000mLを点滴静注する。

投与速度は、通常成人ブドウ糖として 1 時間あたり 0.5g/kg 体重以下とする。なお、年齢、症状、体重により

適宜増減する。

処方区分：院内処方可

薬価：157 円/袋